



2007年9月4日

**ロールス・ロイス、タイガー航空より4億米ドル（460億円*）相当の
V2500 エンジン受注を獲得**

【英国 2007 年 8 月 31 日】民間航空、防衛航空、船舶、エネルギー各分野の世界市場において事業展開するロールス・ロイス社（本社：英国ロンドン、CEO：サー・ジョン・ローズ、以下「ロールス・ロイス」）は、シンガポールのタイガー航空より、4 億米ドル（460 億円*）相当の V2500 エンジンとアフターマーケットサービスの受注を獲得したことを発表しました。この契約は、タイガー航空がこれまでに発注した 50 機のエアバス社製 A320 全派生型機に適用されます。

タイガー航空はすでに 9 機の V2500 エンジン搭載の A320 を東南アジアとオーストラリアの各路線で運航しています。

V2500 エンジンの製造元は、ロールス・ロイスが主要株主であるインターナショナル・エアロ・エンジンズ社（IAE）です。IAE は当社の他、米国のプラット & ホイットニー社（Pratt & Whitney）、財団法人日本航空機エンジン協会（Japanese Aero Engines Corporation）、ドイツの MTU エアロエンジンズ社（MTU Aero Engines）により構成されています。

V2500-A5 エンジンは推力 22,000 ポンドから 33,000 ポンドで、エアバス社製 A319、A320、A321、ならびに A319 コーポレート・ジェットに搭載可能です。現在、1,300 機を超える V2500 搭載航空機が世界中 120 以上の顧客に引き渡されており、発注済みを含めてエンジンの数は 5,000 基以上にのぼります。

以上

ご参考：

1. タイガー航空は 2004 年以降、保有する全ての A320 向けに V2500 エンジンを採用しています。
2. ロールス・ロイスは、シンガポールの航空宇宙産業において 10%以上の生産を担うなど、シンガポールの航空宇宙産業に多大な貢献をしています。また、ロールス・ロイスはシンガポールにおける現地主要パートナーである Singapore Airlines Engineering Company との合弁会社である Singapore Aero Engine Services Limited (SAESL) や International Engine Component Overhaul (IECO)を通じて、シンガポールの航空宇宙産業界全体の労働人口の約 5%である約 1000 人の従業員を雇用しています。

3. ロールス・ロイスは、2006年に、経済的、社会的活動でのシンガポールへの貢献が認められ、シンガポールの経済開発委員会（EDB：the Economic Development Board）より、the Distinguished Partner in Progress (DPIP) 賞を受賞しました。
4. ロールス・ロイスは、2006年1月に、韓国、台湾、マレーシア、インド、シンガポールや、今後顕著な成長が見込まれるこの地域のサプライヤーを担当するリージョン調達本部をシンガポールに開設しました。このリージョン調達本部は、シンガポールでのエネルギー事業や船舶事業も担当します。
5. ロールス・ロイスは、テクノロジーの広範なポートフォリオの研究のため、Rolls-Royce Fuel Cell Systems や、シンガポールの科学技術研究庁（A*STAR）と共同で設立したRolls-Royce Singapore Advanced Technology Centre への投資を通じて、シンガポールで積極的な研究開発活動を行っています。